

寄り道

春の暖かな
とある平日

少し遅く
なっちゃった…

授業を終えた私は一人で
歩いて帰っていた

私の住んでる地区には
若い人は私しか居ない

なので
登下校は一人だし
近所に遊ぶ人もいない

親は遊びに行きなさいと
バス賃をくれるのだけど
別に寂しくはないのだ

寄り道

なぜなら
自然の中で遊ぶのが
私の一番の楽しみだからだ

ただいま
皆 良い子にしてた？

ごはんだよー

最近の楽しみは
田んぼ跡の水溜りに産まれた
オタマジャクシさん達と
戯れることだったりする

今日はみんな元気だね
気温が高いから
水温が丁度いいのかな？

パッ
パッ



わたしも一緒に
入ってみたいな…

誰も来ないよね

入っちゃうか

この辺は
私の庭みたいなものだから
大丈夫なはず

笹藪で道路からは
全然見えないし安心安全だ

お邪魔
しまーす

まあ私の裸なんて見ても
誰もうれしくもないと思う

入っちゃった…
結構ぬるいね

って皆驚いて
隠れちゃった…
ごめんね

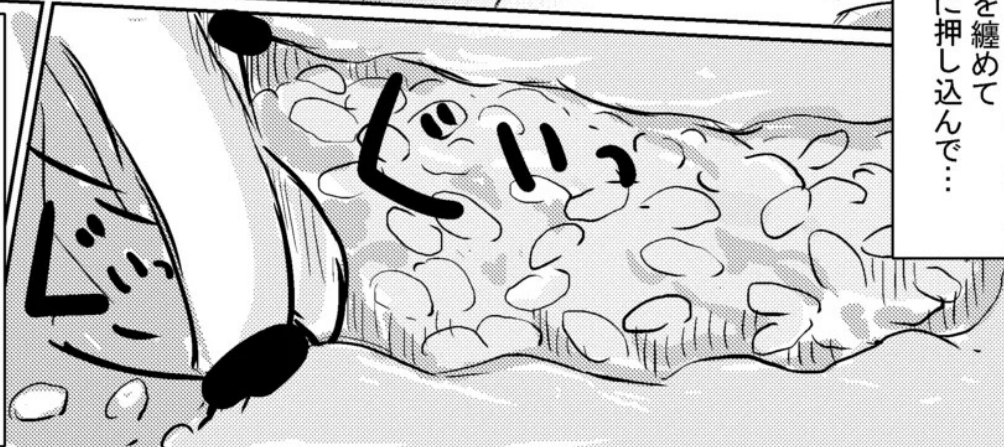
早く
戻ってこないかな

ふふ…
露天風呂みたい

先にまとめてご飯を
入れちゃうかな
丁度いいポツケもあるし

ふやかして柔らかくなった
ごはんを纏めて
膾の中に押し込んで…

便利だね
私のおマンコ



入口が閉じないように
オモチャをハメて準備完了

中に水入ると
結構冷えるね…

ご飯食べ放題だよ
戻っておいで

はいおあ
っポロっ

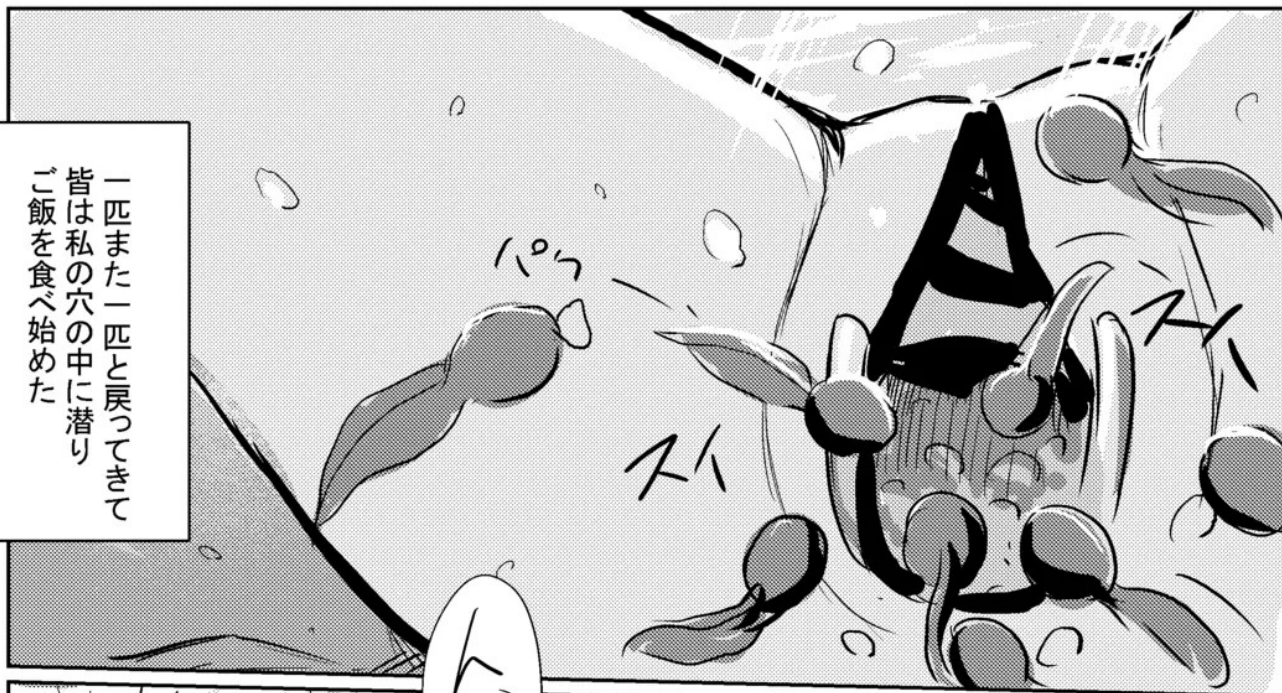
ぐぐ

ぐい

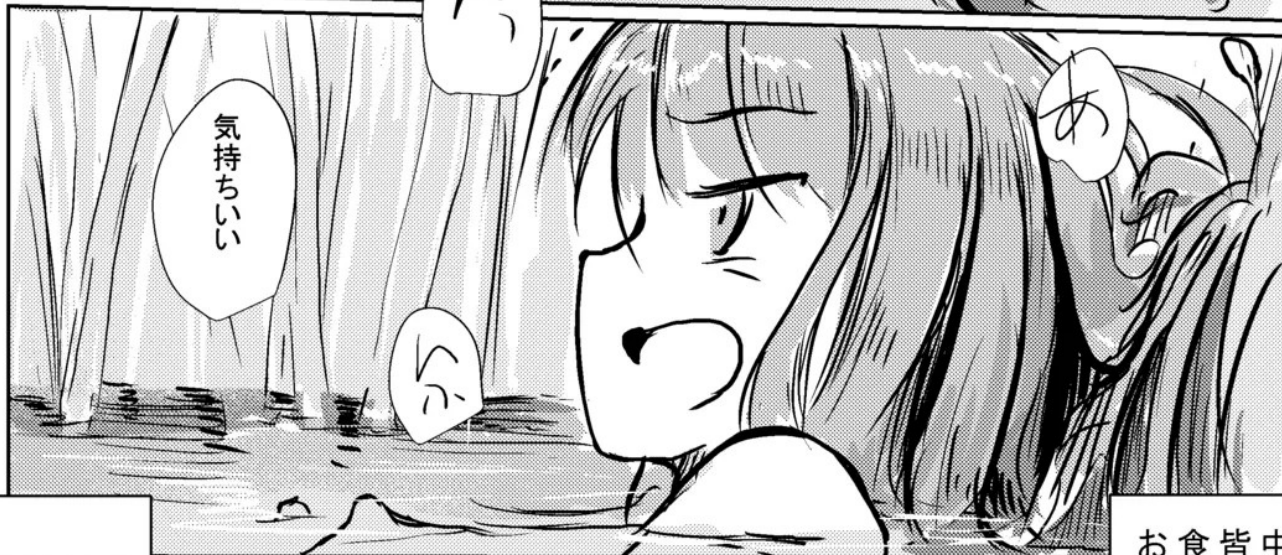
あ…
戻ってきた

おいで

一匹また一匹と戻ってきて
皆は私の穴の中に潜り
ご飯を食べ始めた



気持ちいい



中でご飯がバラけはじめ
皆が踊るようにご飯に
食いつき その動きが
おまんこを刺激する

中には私の膣に齧りつく子もいて
こそばゆい感覚が私を刺激した
何を食べてもいいから
沢山食べて元気に育ってね



オタマジヤクシ達が
どんどん集まって
私のおまんこが大渋滞

こんなに沢山居たっけ？
おマンコの中
凄い事になってそう

みんな
仲良く食べてね

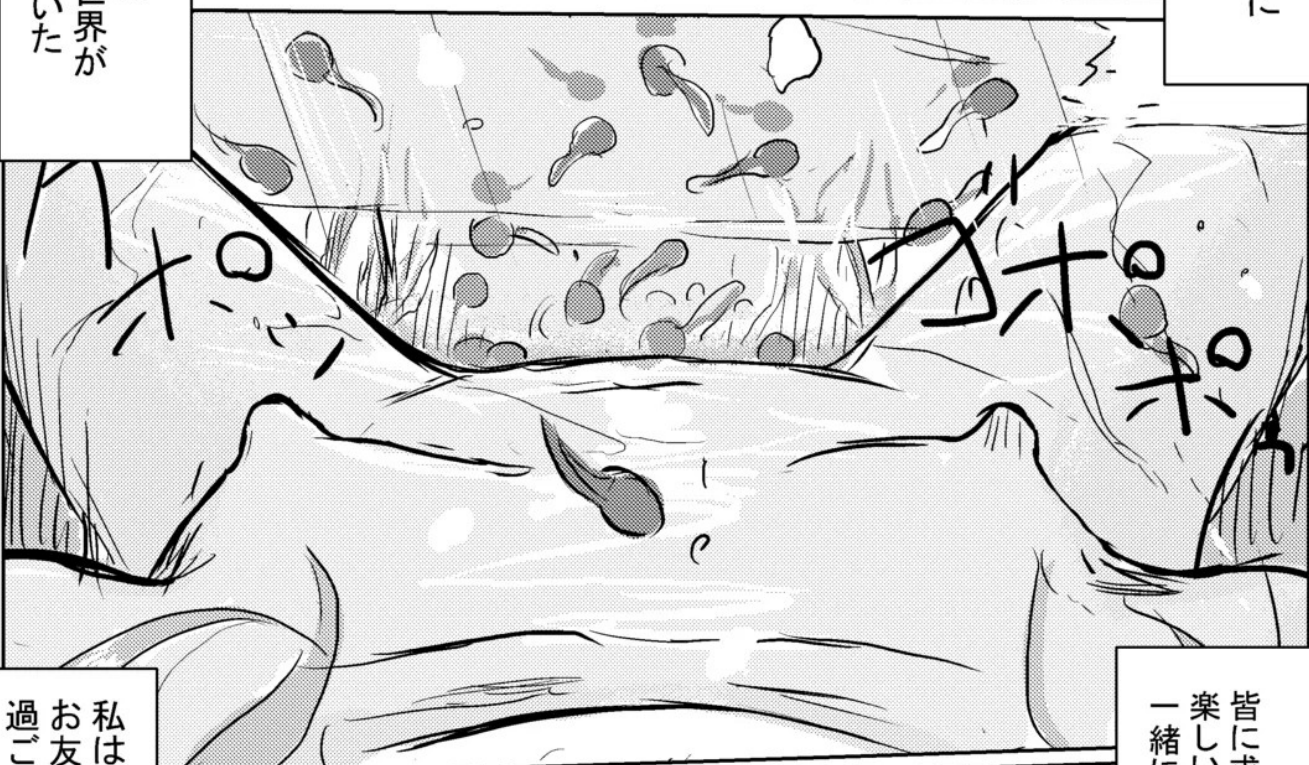
皆に沢山求められる
幸福感と快感に
私は浸り続けることにした

ドンッ



滑って水の中に
潜っちゃった

水中には
素敵な世界が
広がっていた



皆に求められるのも
楽しいけど
一緒に泳ぐのも楽しそう

私は息が続く限り
お友達とこの世界で
過ごすことにした



ゴボ
ゴボ

その後繰り返し
何度も潜って遊び

休憩を兼ねて浮いていると
青い空が視界に入った

青い空の下
皆と過ごす時間は
とても幸せだ

帰る前に小川の水で
体を洗わないと
泥臭いかな…?

